



いちだん

発行責任者
ボーイスカウト
吹田第一団
団委員長
岡田義夫

「備えよ 常に」

ラジオやテレビ、新聞や週刊誌などの刊行物、そしてインターネットの中でも連日報道され続けている、関東および東北地方の大地震・大津波をはじめ、福島における原子力発電所事故。

2011年3月11日「東日本大震災」のこの出来事は、この後100年間は次世代までしっかりと語り継がれることだろう。

私たちは、野営やフィールド活動など、アウトドア・アクティビティを通して多くのことを学んでいる。

天気を予測し、暑さ寒さに対してウェアリング(服装備)を考え、少しの水と食料とその調理道具を持ち、テントやタープ、そして寝袋の類いをザックひとつに詰め込んで体ひとつで担ぎ、野を歩き、幾日かの野営を繰り返すことで、照りつける太陽の暑さをはじめ、雨・風そして雪中の寒さをも体験する。その中で、持てる少ない道具と培った知識、そして経験から学んだ「知恵」を活用して生きてゆく術を、フィールドワークという「真剣な遊び」を通して体験学習しているのだ。

しかし、そこから学ぶ知識は野に生きる最低限の学習に他ならない。大切なことはその学習を、日々くり返す実生活にどう生かし活用するかだ。それによってその価値は異なるものになる。

幾人かの仲間たちと、暑さ寒さの真ん中で、少ない水をはじめ暖かな食べ物を分け合い、小さな焚き火を前に、自分たちの良きも悪しきもさらけ出し、互いを認め合い、これまでの過去の過ちを笑い、これからの未来に夢と希望をもって胸を膨らませる。こんな些細な喜びが、実はとっても貴重で大切な経験になる。その豊かな経験は、やがて「友を想う」ことをはじめとし、最小限の道具や分け合う食べ物を通して、日常生活の中で生きることの「知足」・足るを知ることへとつながっているのだ。

他人を思いやり、分け合うことを身につけ、他者の喜びを自分の喜びとし、その悲しみさえも自分の痛みとして分かち合える人となる。その豊かな想いと感情は、次なる行動に駆り立て、そして実践へとつながってゆく、それが豊かに生きるということであり、そのような社会を目指してわたしたちは日々を重ねているはずなのだ。

こんな時代だからこそ、「アカルイミライ」を目指し、そのために日々の学びを通して「備えよ 常に」を決して、忘れてはならない。(伊東孝志)



(SCOUTING 2011年5月号より)

ビーバーコーナー

みんな、なかよし!みんなで、あそぼう!!

「みんなにできること…」

東北大震災から、いろんな人がいろんな努力を始めています。
被災地へのボランティアは、まだみんなには難しいですね、それに、寄付や義援金もお小遣いの中では、なかなかできません。

でも、なにかないでしょうか?すこしだけかんがえてみましょう。
支援は長く続きます、何年も、、、だから、こんなひどい事が起こった事を、忘れないでいる事も大切ですね。大きくなってから、被災のあった所に遊びに行くとか、おうちのいらぬ電気を消すとか、水道の無駄使いをしないと、みんなが少しずつガマンをするだけでもたくさん集まれば大きな助けになります。

みんなもお家の人といっしょと一緒に、すこしずつの努力をしていきましょう。

4月24日

「紫金山公園ハイク」

前日に降った雨で、みどりがとてもきれいでした、大池公園から休み無く移動、少し涼しかったので頑張れました。

タンポポの綿帽子がたくさん出てました、息を吹きかけると、キラキラ光りながらとんでいきました。市立博物館の入り口からは、太陽の棟が遠くに見えていました。

帰りも休まず歩いて、往復で約5キロ、もっと鍛えて夏の舎営に備えましょう。



☆これからの活動予定☆

- ・5月29日 13:30集合 場所:千一公民館 クラフト
- ・6月12日 13:30集合 場所:千一公民館 クラフト(つづき)
- ・6月26日 9:30集合 場所:JR吹田北口 「施設見学」

ビーバー隊員(候補)大募集……

隊員・保護者のみなさんのご近所のお友達で、お子さんが幼稚園・保育園等に通われている方へのお声掛けをお願いしています。

ボーイスカウト活動は自然や社会の中で、「人間力」を芽生えさせ、強くしていく教育活動です。
是非とも体験へのお誘いをお願いします。

カブ隊のコーナー

雪中ハイク(2/11、金剛山)

荒縄やアイゼンをくつにつけて登りました。
山の上は樹氷とフワフワのパウダースノー、
雪合戦やソリをして、おもいっきり遊びました♡



雪が降ってまーす。これからのぼりまーす♪



登り坂もがんばりました！



BP祭(2/20、南千里公園)

吹田中のスカウトが集合、いっしょけんめい、各団のコーナーでチャレンジしました☆



合同行事(3/27、万博公園)

吹田友団のカブスカウトと合同でゲームなどをしました。
名刺交換で友達が出来たかな◎



今回の活動

- 2/11 隊集会：雪中ハイク
- 2/20 BP祭
- 3/6 隊集会：世界、合同行事の準備など
- 3/27 隊集会：吹田友団との合同行事
- 4/10 隊集会：街中散策(春)、防災、0-ブワクなど
- 4/24 隊集会：人と防災未来センター(神戸)

隊長からの一言

「そなえよつねに」 活動で学んだことを
普段の生活で実行してね

ボーイ隊コ～ナ～

平成 23 年 2 月 20 日 BP 祭 南千里公園にて BP 祭は他団の面白いアイデアがすごかった！

3 月 12 日～13 日キャンプ 自然文化体験交流センターにて 班長が今回のキャンプでついに一級章となりました。1 人でテントや炊具を持って行って 1 人で寝泊りをするのは大変だということ、準備が大事であるということがわかったと思います。竹を使った炊飯もうまくいったようでした。各班員も班長次長を頼りすぎるので、今後も頑張ってください。

3 月 19 日隊集会 千一公民館にて ロープワーク、基本訓練、活動を行いました。

3 月 27 日定期清掃 大井池公園にて 2 か月に 1 度の清掃です。最近やっと隊員の清掃する姿が板についてきたような気がします。ただし、熊手や箒を使った掃除はまだまだ苦手のようですが。

4 月 7 日ビーバー隊奉仕 千一小学校にて ビーバー隊への協力としてピラ配りを行いました。

4 月 17 日廃線跡ハイキング～登山 武田尾近辺にて JR 生瀬～廃線～大峰山～JR 武田尾、カブでも同様に廃線跡ハイキングをしています。今回はライトなしで暗闇のトンネルを、さらに山に登るというレベルの上ったコースでした。ソメイヨシノはほとんど散ってしまいましたが、代わりにヤマザクラが山を染めていました。足元ばかり見ていた隊員は気づいていないかもしれませんが...最高にきれいでした。

5 月 1 日絞り染め体験 京都二条にて 前回の染め方の種類が鹿の子(かのこ) 今回は蠟纈(ろうけつ)といった種類でした。それぞれ好きな形の型を使って好きな色に染めました。

実際にやった染め方 まず染料で模様をつけながらに染める。

乾かしたあとに折りたたみ、型で布を押さえる(本当はロウソクのロウを使う)

型で押さえたまま脱色する。押さえていたところにだけ色が残る。

型で押さえたまま別の色で染める。うまく出来れば型の内外をくっきりと色が分かれて染まる。

何故染めるのに塩を使うのかとか、難しい話も多かったですが、染物名人の話は興味深かったです。名人は70を超えても相変わらず元気でした。染物だけでもいろいろな種類があり、名人でも教わる人が多いとのこと。まだまだ、日本文化は奥が深い。



==ベンチャー隊==

ベンチャー隊は皆忙しく、活発的なスカウト活動をできていません。なので、地震の影響で原子力発電所の放射能漏れが話題のニュースになっているので、放射能や放射線について書きたいと思います。

放射線とは

放射線というのは、目には見えないし、においも味もしない。身体にあたってもいたくもないし、とおりぬけても感じない。放射線とはとても大きなエネルギーをもった、小さな粒の流れで、生き物の身体を簡単につきぬけてしまうので、これを感じる事ができないのです。

放射線には

放射線にはいろいろな種類があります。エックス線・ガンマ線・ベータ線・アルファ線・中性子線・重粒子線などがあります。

放射線の種類とつきぬける力（透過能力）



この図は、放射線の透過能力の模式図です。実際の放射線とちがうことは、次の2点です。

：実際の放射線は、ものをとおりぬけるたびに、いきおいはおとろえます。

：人間の身体はほとんど水分ですから、中性子線が人間の身体に当たると、身体の組織を破壊したりして、そこで止まるものが多くなります。

自然放射線とは

原子爆弾や原子力発電所から出る放射線とはちがい、人間が作りだしたのではない放射線を自然放射線といいます。その中には宇宙や太陽や地中からでてくる放射線や食べ物の中にある物質がだす放射線がふくまれます。そのために生き物は地球上に誕生したときから放射線を受けていることになります。

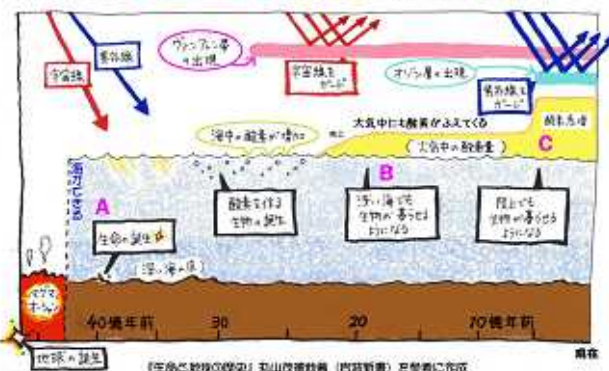
でも下の図を見てください。この図は、地球が誕生してから現在まで、地球にふりそそぐ宇宙線や紫外線と、地球の生き物の関係をえがいたグラフです。

図中A：生命が生まれたのは生物に害をあたえる宇宙線がとどかない深い海の底でした。

図中B：生物が浅い海でも生きられるようになったのは、地球上にふりそそぐ宇宙線をふせぐヴァンアレン帯ができた後でした。

図中C：海の中に酸素を作り出すさいきんが生まれると、大気中にたくさんの酸素がたまりオゾン層ができました。植物や動物が海から陸に上がって生られるようになったのはこのオゾン層が命に危険な紫外線を防ぐようになったためです。

宇宙からの放射線(宇宙線)・紫外線と地球の生き物



隊活動報告と予定

- 2月20日(日) 吹田地区B P祭(南千里公園)
- 3月11日(金) 隊会議 千一公民館
- 4月5日(火) 隊会議
- 4月28日(木) 隊会議 千一公民館
- 5月13日(金) 隊会議 千一公民館
- 6月12日(日) 隊会議



平成23年度 発団60周年記念行事 夏期舎営



国立曽爾青少年自然の家 に決まりました！！

日 程：平成 23 年
7月28日(木曜日)～31日(日曜日)

住 所：奈良県宇陀郡曽爾村太良路1170
TEL 0745-96-2121



吹田地区BP祭

平成23年2月20日(日曜日)南千里公園において吹田地区BP祭が開催され、隊員、リーダー合わせて500名余りが参加した。吹田地区13の団がそれぞれコーナーを開設し、隊員は各コーナーにチャレンジした。1団は“輪(ワ) ルドジャンポリー”と名づけた輪投げを担当した。隊員たちは真剣な顔をしてチャレンジ、輪投げの最高得点は270点だった。



入学式でチラシを配布

4月7日(木曜日)千里第一小学校の入学式当日、校門の前でボーイスカウト勧誘のチラシを新1年生、その保護者に配布した。